

火事見物はほどほどに 消火を遅らす「ヤジ馬」

しめきっていた窓もあけ放され、屋外での活動がますます多くなります。それとともに気をつけなければならないのが「火災」です。

火災はほとんどが不注意が原因で発生しています。外出するとき、おやすみ前には忘れず火の元の点検を行ってください。

なお、みなさんに気をつけていただきたいことは、万一火災が発生したときは、すぐ「119」番をダイヤルしていただきたいことです。出火通報と損害額は反比例します。1分のおくれが100万円の損害をふやすことがあります。火災が発生したときは、あわてずに「119」をダイヤルしてください。

また、損害を大きくするものの一つに、ヤジ馬や火事見舞による消火活動の妨害があります。

人間はだれでも物見高いくせがありますが、火事見舞はもっとも悪いくせ

ではないでしょうか。他人の不幸を見物し、そのうえ消火の妨害をする「ヤジ馬」にならないようにしてください。

火事見舞も、消火活動のじやまになります。知人や親類が火災にあったとき、少しでも早く見舞いにいきたい気持はわかりますが、消火のじやまになってはなんにもなりません。火事見舞は、できるだけ火災がおさまってから行くようにしてください。

消防車が現場へなかなかつかなかつた、ホースが思うように引けなかつたというのくれぐれも注意してください。

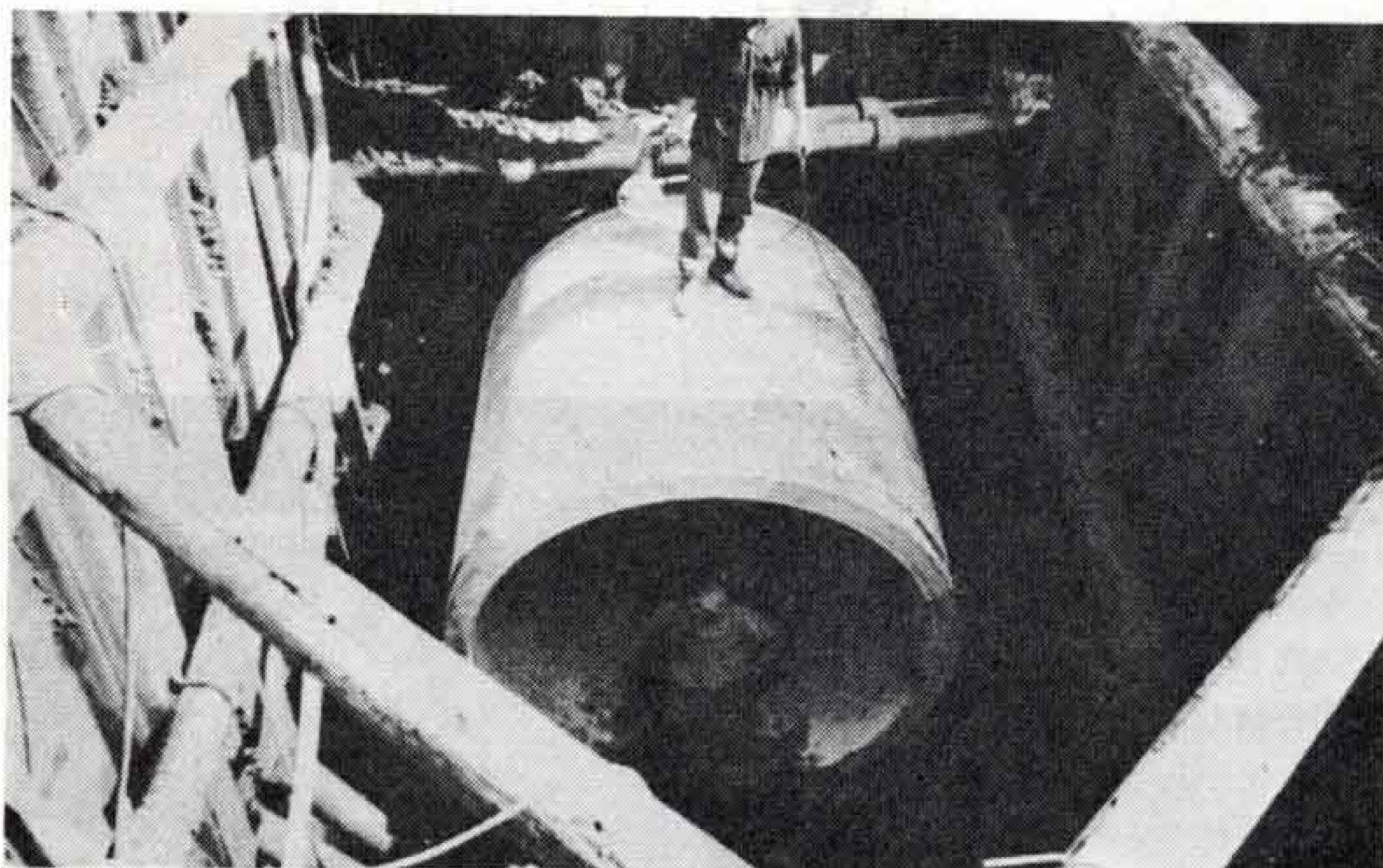
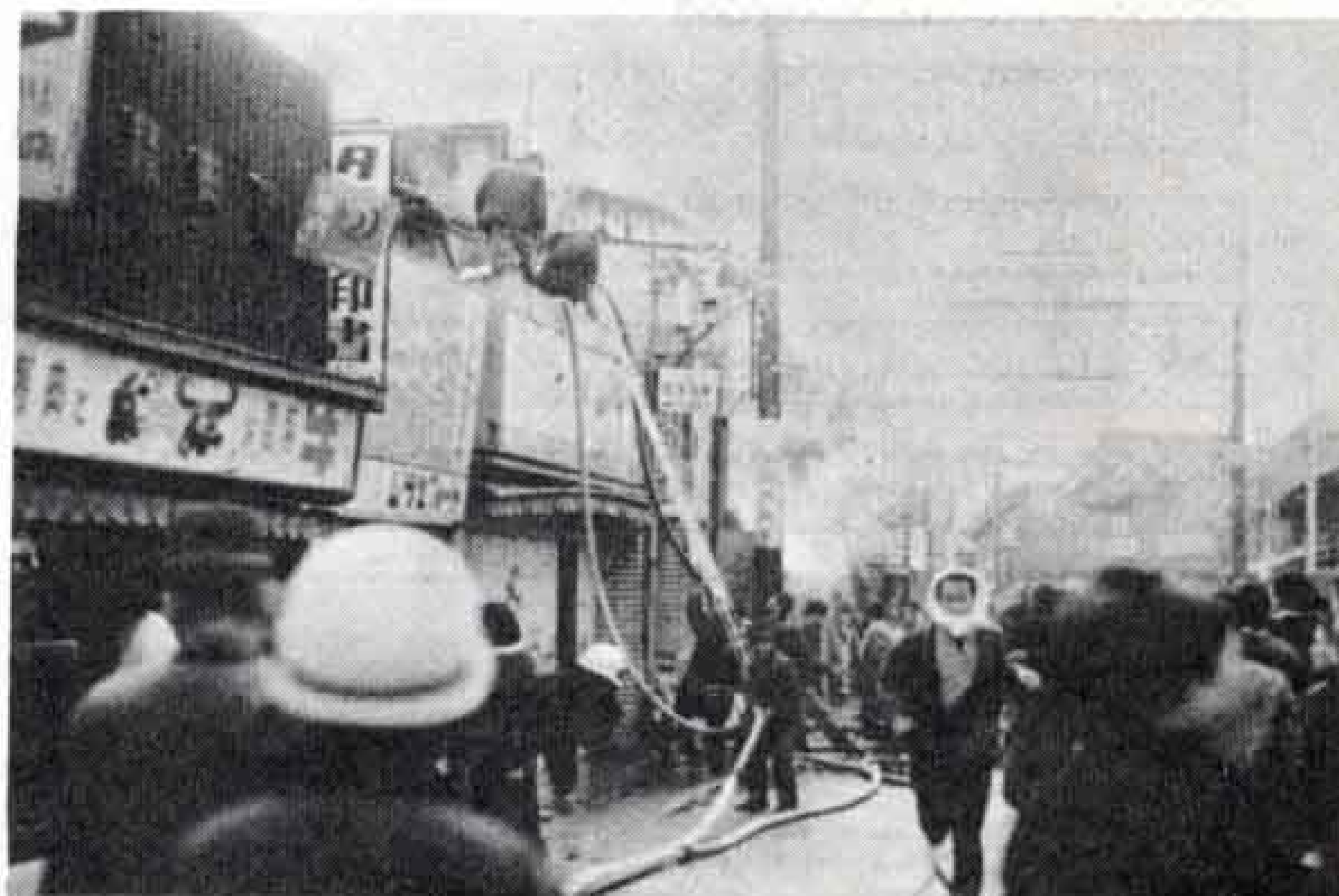
ちなみに、消防本部の統計に

よると昨年の火災件数は94件でとうとい犠牲者1人を出し、負傷者も10人もありました。損害額は9,244万円にものぼりました。

原因別では火遊びによるものが16件でもっとも多く、ついでタバコの不始末10件、かまどの不始末、内燃機関によるもの、配線関係によるもの各5件の順となっています。

火災はいつどこで発生するかわかりません。

ひとりの不注意が大事な財産を灰にしたり、他人に迷惑をかけることのないように、おたがいにエチケットを守りたいものです。



進む 青島津田 区画整理事業

青島津田区画整理事業の排水管理設工事が、ツユをひかえ急ピッチで進められています。青島津田区画整理は整然とした「町づくり」

をめざし、昭和37年からはじめられ、完成は44年です。

排水管の埋設は、区域内の田、家庭から出される「水」を1カ所に集め、国道を横断し、小潤井川に放流するものです。工費は865万円で、2.1kmのヒューム管を延長130mにわたり埋設しています。

湯沢平1・2丁目 を新設

……岩本山団地に……

岩本山団地の町名が「湯沢平1丁目」「湯沢平2丁目」になりました。これにより、市内の町数は285になりました。

岩本山団地の建設は昭和41年から行なわれ、すでに市営住宅70戸、県営住宅34戸、分譲住宅数戸が建てられています。世帯数も81世帯、人口も245人をかぞえています。このため、すでに住んでいるみなさんと協議し、町名を決め、新しい住民組織をつくりました。

なお「湯沢平1丁目」「湯沢平2丁目」がつくられましたが、1丁目は分譲地のためまだ世帯数が少ないので、世帯数が多くなるまで、住民組織は2丁目に所属されています。

今年度の岩本山団地への市営住宅の建設は42戸、県営住宅は71戸つくられることになっています。